

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 26年 9月 2日

学籍番号	14N0005	学系	教育・コーチング
氏名	滝沢 洋平		
学会等名 (正式名称)	2014 East Asian Alliance of Sport Pedagogy Conference		
開催日程	2014年 8月 22日		
開催場所 (国・都市名)	韓国・ソウル		
発表演題名	Development of Teaching Materials in Striking and Fielding Games -Focusing on Overhand Throwing and Batting Ability-		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 日本スポーツ教育学会とは違い、大変緊張感のある学会のように感じた。自分自身は英語や韓国語を聞き取り、受け答えすることが中々難しかったが、中国や韓国等の学生は英語を堪能に使い、発表や質問をしていた。また、各国の oral や poster 発表を聞いている中で、各国の学校体育やスポーツ教育に対する考え方は様々であることを直接学ぶことができたことは、大きな収穫であった。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> 私の研究は、小学校3年生を対象にした8時間のベースボール型ゲームの授業研究を行った。研究の目的は、授業内で児童がベースボール型ゲームを楽しむために、3つの工夫した教材(ロケットボール投げ、フルスイング打ち、修正されたゲーム)で投能力と打能力を向上させていくことである。 結果、投能力として分析した、遠投能力と投動作が有意に向上し、打能力として分析した、打球の強さと打動作が有意に向上した。このことから、今回使用した3つの工夫した教材を使用すれば、児童の投能力・打能力は向上し、児童たちはベースボール型ゲームを楽しむことが出来ることが明らかになった。 ※自分の研究と関連しそうな研究発表はありませんでした。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> ・使用した教具はどのようなものなのか？実際に子どもたちが行うと、どのように取り組むのか？ ・修正されたゲームとはどのようなゲームなのか？ ・動作を分析する際、なにを指標として分析したのか？ ・指導した内容や言葉かけはどのようなことなのか？</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。
提出期限は学会終了後2週間以内とする。